

当事者B：自転車 中学生 女性

Bは、毎日通行する道路の左端を走行していました。いつも車は来ないので、今回も後ろを確認せず道路横断のため進路を右寄りに変えたところ、A車に衝突しました。

自転車側も例えよく知っている道路環境であっても、周囲の状況につねに注意するなど、交通ルールやマナーを守って走行すべきでした。